

施設整備促進支援事業 【医療機関申請】

医療機関名	No	交付対象国庫補助	事業名	構造	物価高騰を反映した単価(A) (円)	実契約工事単価(B) (直接入力) (円)	選定単価(C) (A)と(B) を比較して小さい方 (円)	現行の交付要綱上の 国庫補助単価(D) (円)	実契約工事 整備面積㎡数(E) (直接入力)	現行の交付要綱上の 国庫補助 基準面積㎡数(F)	選定整備面積(G) (D)と(E) を比較して小さい方	事業ごとの国 庫補助率(H)	支給額 (I)=((C)-(D))×(G)×(H) (円)	工事の 契約日	施設 整備に 係る 有無	令和6年度中 に国庫補助 を受けた実績									
●●病院	例1	地域医療介護総合確保基金	事業区分Iの1標準事業例5	-	484,000	500,000	484,000	295,100	2,500	2,300	2,300	0.33	143,375,000	R7.3.31	有										
〇〇センター	例2	医療提供体制施設整備交付金	5.救命救急センター施設整備事業	鉄筋コンクリート造	484,000	600,000	484,000	295,100	2,654	2,300	2,300	0.33	143,375,000		無										
	1						0				0		0												
	2						0				0		0												
	3						0				0		0												
※C列から順番に選択・入力すること 下段の留意事項を必ず確認すること。 記載例のコピー&ペーストは絶対禁止																									
記載に当たっての留意事項																									
確保基金、ハード交付金、施設整備費補助金のうち、いずれかを選択してください。		別表の第1欄に定める国庫補助事業名を選択してください。		①確保基金は「-」を選択してください。 ②ハード交付金及び施設整備費補助金は別表の第3欄に定める構造(鉄筋コンクリート、ブロック、木造等)を選択してください。		①確保基金は、「484,000円」を選択してください。 ②ハード交付金及び施設整備費補助金は別表の第4欄に定める物価高騰を反映した単価を選択してください。		実際に契約した、又は見積の工事費を整備面積で割り、工事単価を算出し、入力してください。対象経費はそれぞれの国庫補助事業メニュー毎に定める内容となります。		計算式で算出されます。		現行の交付要綱上の国庫補助単価については、確保基金の場合、標準単価36万円を入力してください。ハード交付金、施設整備費補助金の場合、別表の第5欄に定める現行の交付要綱上の単価を入力してください。		実際に契約した整備面積に係る整備面積、整備個所数を入力してください。 ※数字のみの入力です。「㎡」や「か所」などは不要です。		別表の第6欄に定める基準面積を㎡数などで入力してください。 確保基金の場合、「がん診療施設施設整備事業」については「1,300㎡」、「地域中核医療機関整備促進事業」については、参考タブを参照して入力してください。 ※数字のみの入力です。「㎡」や「か所」などは不要です。		別表の第7欄で定める調整率、または補助率を選択してください。 ※表示上は同じですが、1/3と0.33は異なるので要注意		計算式で算出されます。		計算式で算出されます。		未契約の場合は空欄としてください。	

【参考】地域中核医療機関整備促進事業の基準面積

※自治体病院等の施設整備に対する支援制度となっています。
該当するか迷う場合は、事前に御相談ください。

地域中核施設の場合

区分	基準面積
臨床研修病院	$65\text{m}^2 \times \text{全病床数} - \text{現有面積}$ (建替後の残存面積)
総合病院	$60\text{m}^2 \times \text{全病床数} - \text{現有面積}$ (建替後の残存面積)
がんセンター	$60\text{m}^2 \times \text{全病床数} - \text{現有面積}$ (建替後の残存面積)
リハビリテーションセンター	$60\text{m}^2 \times \text{全病床数} - \text{現有面積}$ (建替後の残存面積)
小児専門病院	$60\text{m}^2 \times \text{全病床数} - \text{現有面積}$ (建替後の残存面積)
老人医療専門病院	$60\text{m}^2 \times \text{全病床数} - \text{現有面積}$ (建替後の残存面積)
その他特殊医療専門病院	$60\text{m}^2 \times \text{全病床数} - \text{現有面積}$ (建替後の残存面積)
救急告示病院	$50\text{m}^2 \times \text{全病床数} - \text{現有面積}$ (建替後の残存面積)
特殊診療部門を有する病院	$50\text{m}^2 \times \text{全病床数} - \text{現有面積}$ (建替後の残存面積)
その他	$45\text{m}^2 \times \text{全病床数} - \text{現有面積}$ (建替後の残存面積)

特殊医療施設の場合

区分	基準面積
病棟の整備	$60\text{m}^2 \times \text{病床数} \times 0.4$
診療棟の整備	850m^2
管理サービス部門の整備	600m^2
救急基幹センターの整備	600m^2

※複数の区分に該当する場合は、それぞれ算出した面積を合計する。